○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（改善を求めるもの）※拡充・提案含む

区分	■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）		
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ■ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 ■ 建設
要望先	■ 国	担当省庁	国土交通省
	■ 県	担当部局	観光部
	□ その他	名　　称	

件名	**4　貸切バスの規制強化及び運賃改定による観光への影響を踏まえた助成制度の創設等と、運行実態に応じたきめ細かな運用について**
提案市	伊那市、駒ヶ根市
提案要旨	安全確保を目的とした貸切バスの規制強化によって、県内観光地やイベントなどの集客に影響が出ていることから、県による旅行事業者に対する助成制度の継続と拡充を求める。 また、国においては、観光事業者等への影響を十分把握し、影響を受けている地域に対し助成制度の創設等適切な対策を講じるとともに、貸切バスの交替運転者の配置基準に関し、運行実態に応じたきめ細かな運用について研究・検討を行うことを求める。
提案理由	平成24年の高速ツアーバスの重大事故を受け、国土交通省は、「高速乗合バス及び貸切バスの交替運転者の配置基準」を見直し、規制を強化したことから、県内の多くの観光地では首都圏や関西圏からのワンマン運行による日帰りバスツアーの圏外となり、バスツアーが減少している。 地方創生は地方への人の流れをつくるということであるが、今回の規制強化は観光が主要産業である地方の経済に重大な影響を及ぼしている。
現況及び課題等	鉄道輸送力が脆弱な上・下伊那地域の観光事業は、高速道路を利用したバスツアーの集客によるところが大きく、本年の高遠城址公園さくら祭りでは、貸切バスの規制強化によってバスツアーが前年比で約３割減少し、祭り運営にも大きな影響が出た。 長野県では国の地方創生資金を活用して本年６月末～来年１月のツアー造成に対し、旅行会社等へ助成する事業を実施するとしているが、２月～５月の早春ツアーは対象外となる。１年を通した制度に拡充するなど継続的支援等を行い、県内への誘客を促進する必要がある。 また、改正後の道路運送車両法に基づく保安基準（衝突被害軽減ブレーキ装着等）を満たす場合や、運転手が一定のまとまった休憩を取ることができる場合など貸切バスの運行実態に応じた、きめ細かな運用について研究・検討を行う必要がある。
関係法令	道路運送法、道路運送車両法、 旅客自動車運送事業運輸規則の解釈及び運用について